大ホール利用上の注意(ルール)

大阪公立大学

≪利用に際してのお願い≫

- 1 利用承認書は、利用開始時にホール管理人に提示してください。
- 2 利用者以外のものに使用させ、又は承認なく利用目的以外の目的に使用することはできません。利用内容を変更する場合は、利用変更届を提出してください。
- 3 施設、設備、備品等は、大切に扱ってください。万一、施設、設備、備品等を損傷し、又は紛失したときは、ホール管理人 に連絡し、対応を協議してください。(原則、利用者が原状に回復するか、又はその損害を賠償いただきます。)
 - ※舞台床や壁等に掲示物を貼り付ける際は、糊残りしにくいテープ(推奨:電気絶縁用ビニールテープ、マスキングテープ、養生テープ、リノテープ)をご使用ください。判断に迷った時はホール管理者、又は舞台操作作業委託事業者にご相談ください。
- 4 利用にあたっては、特に次の事項を遵守してください。

●飲食

- ① 客席は飲食禁止です。(フタ付きの飲料は除きます。)
- ② 楽屋・講師控室、及びホワイエは飲食可能です。

●喫煙

① 大阪公立大学の敷地内はすべて禁煙です。

●利用後の原状回復

- ① 会場内の座席を座面を立てた状態に戻すとともに、落とし物、忘れ物がないか確認してください。またホワイエ、 楽屋、講師控室は机・椅子・座席等を元の配置に戻してください。持ち込み物品はすべて持ち帰ってください。
- ② 利用後のホール備品は、元の保管場所に戻し、戻し忘れがないか数量を確認してください。また破損などお気付きの点があれば、ホール管理人にお伝えください。
- ③ 大ホールの利用に際して出た廃材、梱包材、紙屑等は、利用者の責任において収集し、持ち帰りください。(ごみ箱内の一般ごみは施設で処分します。)

上記①~③終了後にホール管理人へお知らせください。なお、ホール管理人が確認する際のご同行をお願いする場合があります。

●その他

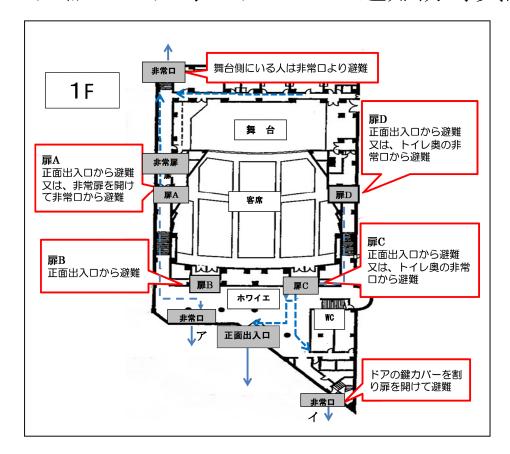
- ① 大ホールの利用に際し、電車、バス等の公共交通機関で来館いただくようご案内ください。
- ② 来場者が入館、退館時に混雑しないよう計画し、適切に誘導してください。
- ③ 利用責任者はホール利用中の災害発生にそなえ、非常時に来場者を円滑に避難誘導できるよう「大ホール避難誘導員配置計画図」(裏面)に沿って避難誘導担当者を決めるとともに、各避難誘導担当者に周知してください。また利用前までに記入済の「大ホール避難誘導員配置計画図」を、ホール管理人にご提出ください。
- ④ 大ホールの設備(音響装置、照明装置、舞台装置、映写装置)は、本学が委託している舞台操作作業委託事業者(有料)が操作します。舞台操作作業委託事業者とは催事が円滑に進行できるよう、事前にタイムスケジュールを含めた打ち合わせを十分におこなってください。
- ⑤ 大ホール内で関係者及び来場者に生じた事故、損害については、本学はその責任を負いません。
- ⑥ 利用者所有物の火災、盗難、破損等による損害については、本学はその責任を負いません。
- ⑦ 拾得物は利用者が持ち帰り、落とし主への対応もおこなってください。本学はその責任を負いません。※後日拾得した貴重品は、本学担当部署で一定期間保管後、所轄の警察署に届け出ます。
- ⑧ 非常口、消火設備等の周辺には、物品を置かないでください。
- ⑨ 催し物についての問合わせ等については、利用者が責任を持って対応してください。ホール側では対応できません。

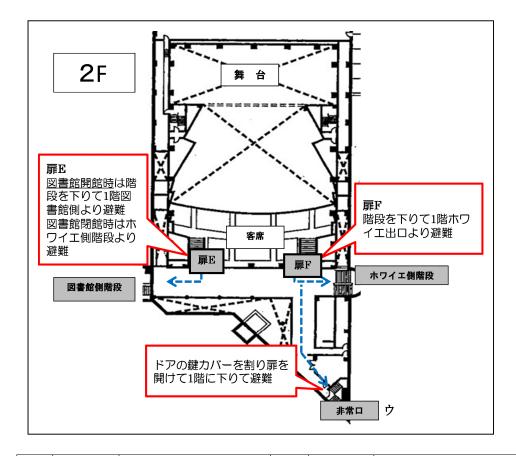
≪利用承認の取消し、利用制限等≫

次の事項に該当するときは利用の承認を取消し、利用を制限、若しくは停止することがあります。

- 1 大ホールの利用について、虚偽の申込みをしたとき。
- 2 他人に危害を加え、若しくは不快の念を起こさせ、又はそのおそれがあるとき。
- 3 建物及び設備を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれがあるとき。
- 4 公立大学法人大阪固定資産貸付規程若しくは学術情報センター大ホール利用要綱に違反したとき。
- 5 利用の承認に関わる条件に違反したとき。
- 6 その他大ホールの管理上支障があると認められるとき。

大阪公立大学 学術情報課 Uホール予約窓口 外線 072-247-6075 (平日 9:00~17:00)





Uホール災害発生時の避難誘導について

- Ⅰ・Uホール利用申請者は、利用人数 100 名につき 1 名の避難誘導員を配置Ⅰ することとし、避難誘導担当者を右表に記入して、利用申込時に提出してくだⅠ さい。
- ・ U ホール利用申請者は、避難誘導担当者とともに、上記避難経路図にそっト た避難誘導計画を立て、利用開始前に必ず避難経路を確認してください。
 - ・災害等の発生場所により、避難方法・経路については状況に応じて判断してください。

	非常口等	避難為自当者		非常口等	避	難誘手当者		
1F	扉A		- 2F	扉E				
	扉B			扉F				
	扉C			非常口 ウ				
	扉D							
	正面出入口		利用団	利用団体名				
	非常口 ア		利用中	利用申込者				
	非常口 イ		利用年	月日	年	月	В	